



## 駅伝チームに新風吹かせる

しみず らく  
**清水 楽** さん

### PROFILE

しみず らく(東町・26)  
しずおか市町対抗駅伝監督。  
赴任している池新田高校では  
陸上競技部の顧問を務める。

### チームに新しい風を

しずおか市町対抗駅伝の御前崎市チームの監督に新たに就任した清水楽さん。2年前、池新田高校に赴任すると同時に御前崎市チームにスタッフとして参加した。3年目となる今年、監督に就任した。清水さんは「監督の話をもらえて身が引き締まる思い。まだまだ指導者としては経験が浅いが、全力を尽くしてチームに新しい風を吹かせたい」と思いを語った。

### 現役選手としても活躍

清水さんは現役の陸上選手でもある。三段跳びと走り幅跳びが専門で、4月16日に開催された第54回静岡県西部陸上競技選手権大会では、三段跳びで自己記録を更新し優勝した。大台となる16メートルを目指し、選手としても成長し続けている。7月には顧問を務める陸上競技部の生徒と共に静岡県陸上競技選手権大会に出場する。「生徒と一緒に出場できてうれしい。最近は、朝練などは生徒と一緒に練習している。まだまだ生徒たちには陸上選手として負けられ

ないですよね」と笑顔で話してくれた。

### 御前崎を一つに

清水さんは監督となり最初にチームの広報活動に取り組んだ。選手集めとして、各小中学校の校長が集まる校長会に赴き、足の速い子に出てもらえるよう呼び掛けた。市民に向けてはチームの認知度を高めようとランニング教室を開催し、その中でチームの紹介などをしていく。

練習の進み具合が形として見えるように練習ノートをつくり、一人一人に合った指導をすることで、選手とコーチ陣の結束力を高めようと工夫している。

こうした試みはチームのスローガンとして掲げる「御前崎を一つに」の実現に向けたものだ。「選手が市の代表として走ることに誇りを持つ。市民が選手の活躍を見て、自分のことのように喜んでもらえるチームになることが理想」と目指す姿を語る。

選手と指導者、どちらの立場にも本気で取り組む清水さんの熱意は、多くの人を動かしていくに違いない。